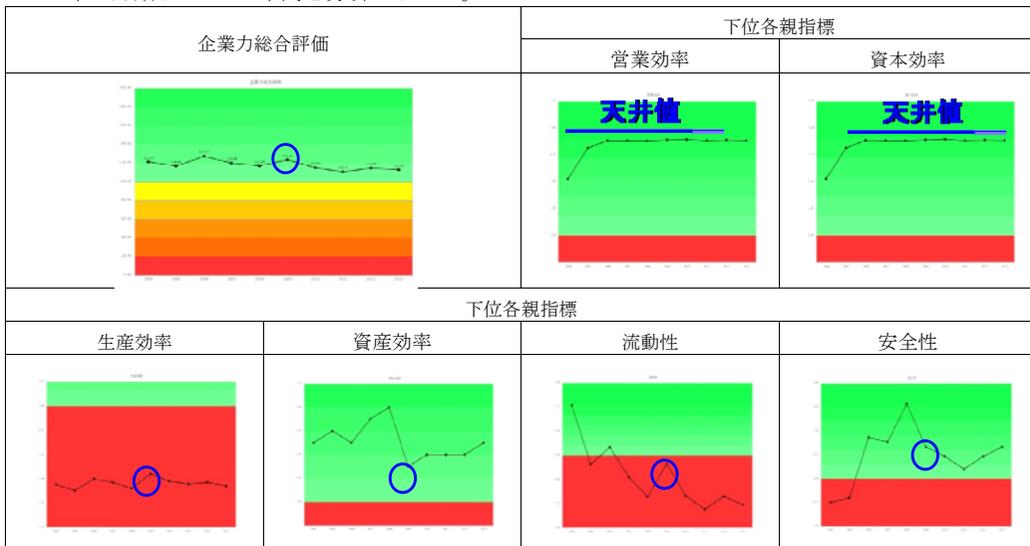


今回は、株式会社トリドールを分析しました。讃岐・釜揚げうどんの丸亀製麺（セルフ方式のうどん店）の会社です。オープンキッチンにして調理シーンを見せ、臨場感を出しています。以前はロードサイド店が多かったのですが、最近はショッピングモールなどでの出店をどんどん増やしています。ほかに、とりどーる（炭火焼き鳥）、丸醬屋（ラーメン）、長田本庄軒（焼きそば）等もありますが、丸亀製麺が売上の90%以上を占めています。

2013年3月期までの10年間を分析しました。



企業力総合評価は、110～120ポイントの間で緩やかに悪化トレンドです。

営業効率（儲かるか）、資本効率（資本の利用度）は天井値。

生産効率（人の利用度）は10期連続赤信号領域。

資産効率（資産の利用度）と流動性（短期資金繰り）は悪化トレンドです。積極的に投資している会社でよく見られるパターンです。業績が良いのに総合評価が悪化トレンドになっているのは、その影響だと考えられます。（ちなみに流動性については、現金商売で食品を扱っているの、売掛債権や棚卸資産が少なく、もともと流動性が低くなる業種です。）

安全性は改善トレンドです。営業効率、資本効率が良く、利益剰余金が蓄積して自己資本比率を上げています。

このような絶好調の会社はリーマン・ショックの時にどうしていたのでしょうか。

青丸が2009年3月期です。企業力総合評価は改善しています。生産効率↑、資産効率↓、流動性↑、安全性↓となっています。

詳しい数字を見ると次ページ上表のように、総資本が115.20%増えています。内訳は、982百万円の増資、4,454百万円の有利子負債増加（安全性↓）、現金預金も3,815百万円増（資産効率↓）。これ

はリーマン・ショック対応の資金調達（流動性↑）ですが、あくまで攻めの姿勢は崩さず売上増加率は対前年49.01%アップ。

生産効率↑については、売上高増加率49.01 > 従業員増加率46.49% のため、1人当り売上高が改善したため。しかしずっと赤信号領域にはまったままなので、問題がないとは言いきれません。

増加率 各下位指標	単位: 百万円・%									
	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
経常利益	161	315	726	962	1,386	2,707	4,724	4,568	6,499	6,911
経常利益増加率	0.00%	95.47%	130.59%	32.51%	44.00%	95.35%	74.51%	▲3.31%	42.27%	6.34%
売上高合計	3,539	5,158	7,906	10,885	16,455	24,520	38,929	48,835	61,075	70,906
売上高増加率	0.00%	45.76%	53.28%	37.68%	51.17%	49.01%	58.77%	25.45%	25.06%	16.10%
資産合計	2,282	2,934	4,772	6,060	8,425	18,130	25,374	31,717	39,729	45,104
総資本増加率	0.00%	28.59%	62.63%	26.83%	39.20%	115.20%	39.96%	24.99%	25.26%	13.52%
総従業員数	468人	697人	970人	1,343人	2,093人	3,066人	5,012人	6,442人	7,963人	9,477人
従業員増加率	0.00%	48.93%	39.17%	38.45%	55.85%	46.49%	63.47%	28.53%	23.61%	19.01%

下表は営業効率指標です。

10年間で売上高は20倍、営業利益率・経常利益率は2倍以上になりました。

営業効率 各下位指標	単位: 百万円・%									
	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
売上高合計	3,539	5,158	7,906	10,885	16,455	24,520	38,929	48,835	61,075	70,906
売上総利益	2,402	3,549	5,644	7,891	12,021	18,237	29,166	36,410	45,343	53,284
売上高総利益率	67.88%	68.82%	71.38%	72.49%	73.05%	74.38%	74.92%	74.56%	74.24%	75.15%
営業利益	132	292	732	968	1,448	2,831	4,824	4,763	6,745	7,046
売上高営業利益率	3.72%	5.67%	9.25%	8.90%	8.80%	11.54%	12.39%	9.75%	11.04%	9.94%
経常利益	161	315	726	962	1,386	2,707	4,724	4,568	6,499	6,911
売上高経常利益率	4.55%	6.11%	9.19%	8.84%	8.42%	11.04%	12.14%	9.35%	10.64%	9.75%
当期純利益	84	154	390	506	590	1,351	2,261	2,021	3,053	3,248
売上高当期利益率	2.37%	2.98%	4.93%	4.65%	3.59%	5.51%	5.81%	4.14%	5.00%	4.58%

まとめ

10年間、成長を続けています。企業力総合評価が悪化トレンドに表れるほどまで、攻めの経営をしているといえます。生産効率に課題はあるものの9期連続増収増益で利益率も上がっていますから素晴らしいです。

編集後記 (例) 釜揚げうどん 280円+野菜かき揚げ 120円+いなり 100円=510円。今の季節はあんかけもオススメです。文責MS
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-9-21 SARUKIビル4F 猿木真紀子税理士事務所
Tel. 06-6631-4570 Fax. 06-6631-7970 info@saruki-tax.jp http://www.saruki-tax.jp